



2018年2月15日

各位

会社名 サッポロホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 尾賀 真城
コード番号 2501
上場取引所 東証・札証
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 梅里 俊彦
TEL 03(5423)7407

国際財務報告基準（IFRS）の任意適用に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結財務諸表及び連結計算書類について、2018年12月期決算から従来の日本基準に替えて国際財務報告基準（IFRS）を任意適用し、2018年12月期第1四半期からIFRSに基づき開示することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、日本、北米、アジアなど、グローバルな事業展開を推進しておりますことから、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上、グループ内での会計処理統一を目的とし、IFRSを任意適用することといたしました。

以上

（ご参考）

IFRSを任意適用した際のサッポログループ長期経営ビジョン「SPEED150」第一次中期経営計画2020の経営目標数値については以下の通りです。

なお、IFRSの任意適用に伴う会計処理の変更の影響が少ない指標として、「EBITDA」を記載しております。

	2020年目標（日本基準）			2020年目標（IFRS）	
	売上高	のれん償却前 営業利益	EBITDA （※1）	売上収益	EBITDA （※2）
連結合計	6,400億円	340億円	590億円	6,250億円	580億円
国内酒類事業	3,150億円	140億円	230億円	2,934億円	225億円
国際事業	790億円	50億円	90億円	917億円	90億円
食品・飲料事業	1,620億円	65億円	124億円	1,565億円	124億円
外食事業	320億円	16億円	26億円	315億円	25億円
不動産事業	250億円	120億円	163億円	249億円	163億円
新規その他	270億円	9億円	8億円	270億円	8億円
全社	—	△60億円	△51億円	—	△55億円

※1 日本基準 EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

※2 IFRS適用後 EBITDA=事業利益（売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除）+減価償却費